

023
むすびに

はじめて政治家を志した16年前、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」を挙げ、次のように記しました。

「政治」って何なのでしょう。『まちづくりの心』は…。

この町を良くしたいと、政治的行動を起こす決意をしてから、この問いを真剣に考えてきました。

多くの人に出会い、それぞれの人生に触れ、ふと立ち止まった時、宮沢賢治のこの詩が、違った光りを放って心に輝いてきました。一個の人間の生き方として信条にしていたこの詩が、今、政治家に求められている姿勢ではないかと。

宮沢賢治の詩には、深い真摯な祈りを感じます。町の発展、人々の幸せへの祈り、そして、自己を律した生活と行動力。詩の中に感じられるあらゆる徳を満たすことは難しいかもしれない。しかし、『サウイフセイジカニ ワタシハナリタイ。』（「林いさお」オフィシャルウェブサイト）

今も、これが私の信条です。「雨ニモマケズ」に通底しているのは「私心」のなさ、あらゆる存在への「優しいまなざし」と、幸せを願う「祈り」です。

経営の神様といわれる稲盛和夫氏も毎晩「動機善なりや、私心なかりしか」と私心がないことを確認していたといえます。

宮沢賢治と稲盛和夫氏の根底にあるのは「私心」のなさであり「利他の精神」です。それは「まちづくりの王道」ともいえます。

1月16日から4期目がスタートしました。「雨ニモマケズ」の心を鑑とし「動機善なりや、私心なかりしか」と日々自省し、誰一人取り残さない「幸せのまちづくり」を推進してまいります。



令和5年度
施政方針より

施政方針の詳細は、町のホームページをご確認ください。



申請手続の簡素化

住民サービスの向上

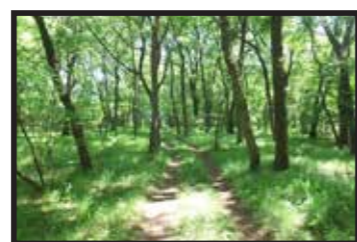
昨年度は引越しに関する手続きを一部オンライン化。今後はパスワード更新の電子申請ができるように準備をしています。スマートフォン決済アプリでの町税納付については、今年度も利用できるアプリを追加していきます。



緑の保全

豊かな環境を守る

せせらぎ水辺広場に植栽をします。また、落ち葉を集める堆肥場を設置し、家庭菜園などで使えるようにします。コナラなどの枯死に関しては対策のため伐採を実施。「環境基本計画」については新たな計画を策定します。



脱炭素への取り組み

環境にやさしく

ゼロ・カーボンの実現に向け、公共施設LED化、太陽光PPA（事業者が太陽光発電設備を設置・管理する仕組み）の導入検証などを行います。また、昨年度に続き、公用車に電気自動車を1台追加導入し、EV化を進めます。



行政事務の効率化

資源・コストの削減

令和7年度までに本格運用予定のガバメントクラウド（政府共通のクラウドサービス）の準備をします。更なる資源やコストの削減を進めるとともに、RPA（業務を自動化するソフトウェア）などを活用し事務の効率化を進めます。



施設の維持管理

誰もが使いやすい施設へ

藤久保地域の公共施設を複合化して整備する「藤久保地域拠点施設整備事業」の設計手続きをめざします。また、役場庁舎1階に点字ブロックを設置し、藤久保第5区第2集会所、北永井第2区集会所、竹間沢第1区集会所では改修設計をします。



上下水道

安定供給と耐震化

水道事業では、主に取水井導水管布設替を実施し、受変電設備を更新します。また、指定避難所などへの污水機能を確保する耐震化では、県道三芳・富士見線等のマンホール13箇所を整備し、耐震化を完了させます。



障がい者福祉

思いやり・支え合う

今年度は「障がい者福祉計画」、「第7期障がい福祉計画」、「第3期障がい児福祉計画」を一体的に策定します。日常生活用具給付事業では、人工呼吸器用自家発電機、気管切開した方用の人工鼻を新たな品目に加えます。



道路環境の整備

円滑な交通環境を

町道幹線3号線ほか9路線の修繕を予定。町道幹線14・21号線で排水対策を実施します。橋梁については中東1号橋ほか20橋で点検を実施。関越自動車道へ架かる東草橋ほか3橋は、令和6年度以降の修繕への準備をします。



地域防災

いざという時のために

地域の皆さんの意見を伺い、地域特性に配慮した防災講座を実施します。また、令和6年度改訂をめぐり「地域防災計画」を見直します。公民館では、災害時の抛り所となれるよう、段ボールベッド、毛布、保存食などを整備します。



高齢者福祉

ずっと安心して住める町

要介護状態でも可能な限り居宅で生活ができるよう「看護小規模多機能型居宅介護施設」を開設します。また、高齢者の安全安心や活動・活躍の場の確保、健康長寿の推進などの理念を盛り込んだ条例を検討します。



健康の維持

がんとフレイルの予防

がん対策の総合サイトを創設します。また、治療の外見の心理的負担を軽減するため助成を実施。乳がん検診については、無料クーポン対象者の追加や自己負担金引き下げを行います。フレイル対策としては各種事業の充実を図ります。



通学路・避難路の安全

地震への対策

通学路・緊急避難路などに面したブロック塀の倒壊事故を防止するため、撤去や築造の費用を引き続き助成します。「建築物耐震改修促進計画」については手続きの簡素化を図り、利用しやすい制度にしていきます。



保育所の環境整備

安心安全な保育

保護者アンケートを実施し、ニーズを的確に把握するとともに、安全安心な環境下での保育サービスの充実に努めます。保育環境の整備については、保育室床の改修や日除けの交換、壁掛け扇風機の設置などを行います。



スマート IC 整備

安全対策と本体工事

町道上富69号線の付替工事や関越自動車道を跨ぐ歩道橋設置などが完了し、昨年度から下り線側の本体工事に着手しています。スマート IC 周辺の「みどり共生産業ゾーン」については、新たな企業誘致を図ります。



公共交通

さらなる改善を

70歳以上の人や妊産婦を対象にバス・タクシーの利用補助制度を実施しています。今年度から、望ましい公共交通の姿を明らかにし公共交通のマスタープランの役割を果たす「地域公共交通計画」の策定をめざします。

